

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【公開番号】特開 2019-180740 (P2019-180740A)

【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-74608 (P2018-74608)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 29 日 (2019.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

画像を表示可能な表示手段と、

動作可能な可動体と、を備え、

前記可動体が前記表示手段の表示領域に向けて動作するとともに、前記表示手段にて立体視可能な特別画像と、前記特別画像とは異なる前記可動体に対応した特定画像を表示することにより可動体演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 A の遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

画像を表示可能な表示手段と、

動作可能な可動体と、を備え、

前記可動体が前記表示手段の表示領域に向けて動作するとともに、前記表示手段にて立体視可能な特別画像と、前記特別画像とは異なる前記可動体に対応した特定画像を表示することにより可動体演出を実行可能である、

ことを特徴としている。

さらに、手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 A）であって、

画像を表示可能な表示手段（例えば、画像表示装置 5）と、

動作可能な可動体（例えば、第 1 可動体 3 0 1）と、

を備え、

前記可動体が前記表示手段の表示領域に向けて動作するとともに、前記表示手段にて立

体視可能な特別画像を表示することにより可動体演出を実行可能である（例えば、演出制御用CPU120が、第1可動体演出において、第1可動体301の第1可動部301Aを表示領域5Eに向けて移動させるとともに、画像表示装置5にて、第1可動部301Aを強調表示するためのエフェクト画像005SG004について立体視可能な3D画像として表示することが可能な部分。図8-7、図8-15（A）参照）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、可動体が表示手段の前方から表示領域に向けて動作したときに立体視可能な特別画像が表示されるので、可動体演出の効果を高めることができる。